

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No. 134

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目 3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

第27回日本臨床工学会開催のお知らせ

2017年5月20日(土)、21日(日)の日程で、第27回日本臨床工学会が開催されます。今回の学会のテーマは「未来にはばたく臨床工学技士—新たな活躍の場を求めて—」であり、医工連携分野の講演から、それぞれの業務分野ごとのシンポジウムやワークショップ、臨床工学技士の教育のあり方など内容は多岐にわたります。今後の臨床工学技士のあり方、業務の方向性を考える上で大きな学びの場となることは間違いありません。

今回の日本臨床工学会は初の青森県開催となります。北海道の臨床工学技士の皆様も、北海道新幹線で身近になった東北に足を運び、青森のグルメを堪能しつつ、学会で多くの技術や情報を学んでいただきたいと思います。そして、それらを各病院に持ち帰り実践していくことが、今後の北海道臨床工学技士の底上げに繋がることと期待しています。ぜひ青森へ。



会場 リンクステーションホール青森(青森市文化会館)・ホテル青森

学会長 野沢 義則(八戸市立市民病院)

主催 公益社団法人 日本臨床工学技士会 / 一般社団法人 青森県臨床工学技士会

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.134

| | |
|-------------------|---|
| 日本臨床工学会開催のお知らせ | 1 |
| 第11回卒業後教育セミナー開催 | 2 |
| RM ニュース | 3 |
| 理事会からの報告 | 3 |
| 4月からのお知らせ | 4 |
| 医療事故情報収集等事業医療安全情報 | 4 |
| 外部理事紹介 | 5 |

第11回 卒業教育セミナー開催

2017年2月26日(日)ムトウ本社にて、第11回卒業教育セミナーが開催され、不整脈関連業務に携わる道臨工会員の多数の参加があり、とても盛大なセミナーとなりました。

セミナー内容としては、「各施設のアブレーション業務の実際」と題して、4施設でのアブレーション治療の実績や、チーム医療の一員として臨床工学技士が担う役割などをご紹介いただきました。各施設の発表者から聞かれた意見としては、アブレーション治療担当の臨床工学技士の確保が難しい点、新人育成の取り組みについて、看護師との関係性を構築することの難しさなど、率直な内容がご紹介されていたことが印象的でした。また、ある発表者からは、不整脈関連の業務に携わる臨床工学技士の間で意見交換が出来る機会が年に一回でもいいので設けることができれば、業務に役立つ知識の習得のみならず、疑問点や問題点の解決にも繋がるのではないかと、いう意見も聞かれました。

特別講演では、社会医療法人社団 カレス サッポロ北光記念病院 看護課長の菅野先生に「デバイスに関わる看護師の役割」と題してご講演いただきました。各デバイスを植込む事で、生活がどのように変化していくの



セミナー風景

かを患者自身が理解、納得できるまで丁寧に説明を繰り返し、日常でのちょっとした疑問でも気軽に相談できる関係性を築き、QOLの維持、向上に尽力されている点にとても感銘を受けました。技士や看護師の垣根を越えて、一つのチームとして患者と向き合うことの大切さを再確認できた内容となっていました。

教育講演では、筑波大学附属病院の縮先生が「不整脈治療において臨床工学技士が求められている必要な知識」と題してご講演いただきました。豊富な経験から導かれた必要最低限の基礎的な知識や、業務の取り組み方、映像を交えたアブレーション治療の現場紹介、今後発表される予定の新デバイスに関して最新の知見などをご説明していただき、不整脈業務に携わる技士として、大変有意義な内容となっており、講演時間があっという間に過ぎてしまう印象でした。臨床工学技士の専門性を活かして、カテーテル室での機器配置や、ノイズ対策、電源コンセントの位置などにも気を配ることで、安全な医療環境を構築されている点も感銘を受けました。

各施設の現状や最新の知見について学ぶ大変良い機会となったセミナーであり、様々な分野の皆様にもお勧めできる内容となりました。



教育講演中の縮先生

広報委員 東

◆RM ニュース◆

< 人工呼吸器電源切れ死亡 水戸市の病院 82歳男性 >

茨城県警は、水戸市内の病院に入院していた男性（82）が、人工呼吸器の電源が切れた状態で死亡しているのが見つかったと明らかにした。司法解剖の結果、死因は不詳。事故や事件の可能性があるとみて経緯を調べている。

水戸署によると、2月7日午後9時10分ごろ、巡回していた看護師（30）が発見した。人工呼吸器のコンセントは外れていなかったが、電源がオフの状態になっていた。

男性は約2年前に入院し、寝たきり状態で常時、人工呼吸器を装着していた。死亡時は4人部屋でほかに3人の入院患者がいた。病院では2時間に1回程度巡回。約100人が入院しており、男性の階では死亡時、看護師1人とヘルパー2人がいた。

時間外窓口で勤務していた女性によると、80歳以上の終末期の患者や別の施設からの受け入れが多いという。「（男性患者が亡くなったことは）聞いたが、詳しいことは何も知らない」と戸惑った様子だった。

2017年2月10日（金）配信 共同通信社

< 昨年の医療事故、 過去最多の3882件 9年連続増 >

「日本医療機能評価機構」（東京）は27日、昨年1年間に報告された医療事故の件数は全国1031医療機関で、過去最多の計3882件だったと発表した。

調査は2005年に始まり、9年連続で増え続けている。内訳は、医療事故の報告が義務づけ

られている大学病院など計276医療機関からの報告が、8割超の3428件。このほか、任意で755の医療機関が、同機構に454件の事故を報告した。移動時の転倒や手術後に異物が体内に残っていた事故などが目立った。

2017年3月28日（火）配信 読売新聞

理事会からの報告

3月14日（火）の理事会で以下の報告、協議がなされました。

□報告事項

- 新入会・退会者の報告
現在の会員総数 1113名
- 年会費自動振替対応状況報告
- 各委員会報告
- 日本臨床工学会誘致について
2021年誘致を目標に準備をする。
- 平成29年度総会開催日、開催場所
6月4日（日）、KKR札幌医療センターで開催

□協議事項

- 平成29年度事業計画案・予算案について
- 共催・後援規定の整備について
- 当会規定の整備について
- ホームページ問い合わせについて（個人情報、一時対応）
- Yボードミーティングについて
- 第28回北海道臨床工学会抄録集の事前発送について
- 「AED日常点検啓発活動の協力に関するお願い」について
- 公益事業承認について
- メディカルオンライン登録について

4月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載の web サイトをご覧ください。

2017年5月13日(土)

「第3回地域連携セミナー」

～呼吸療法、最新事情！～

会場 北見赤十字病院

http://hcea.umin.ac.jp/info_study/2016/3th_tiikirenkei_seminar_kitami.html

2017年5月20日(土)～5月21日(日)

「第27回日本臨床工学会」

会場 リンクステーションホール青森
ホテル青森

<http://convention.jtbcom.co.jp/jace27/>

2017年6月10日(土)

「第6回北海道医療安全研究会」

会場 北海道自治労会館 5階 大ホール

2017年7月9日(日)

「第6回日本EPアブレーション

技術研究会」

会場 TKP 札幌駅カンファレンスセンター
カンファレンスルーム 3D

http://ep-engineer.net/EP_STAFF_ROOM/Welcome.html

医療事故情報収集等事業医療安全情報

(詳細は、日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください。)

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.123 2017年2月

公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全情報 永久気管孔へのフィルムドレッシング材の貼付 No.123 2017年2月

入浴やシャワーを行う際、患者が永久気管孔の造設後であることを知らず、頸部の孔にフィルムドレッシング材を貼付したため、患者の呼吸状態に影響があった事例が2件報告されています(集計期間:2013年1月1日～2016年12月31日)。この情報は、第46回報告書「個別のテーマの検討状況」(P149)で取り上げた内容をもとに作成しました。

患者の頸部の孔を永久気管孔と認識せず、塞いだ事例が報告されています。

医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No.123 2017年2月

永久気管孔へのフィルムドレッシング材の貼付

事例

入院時の担当看護師は、医師より患者が永久気管孔の造設後であることを聞き、看護プロファイルに入力した。入院後、初めてのシャワー浴の際、看護師Aと看護師Bは患者の頸部の孔が永久気管孔であることを知らないまま、2人で相談し、湿の沁入を防ぐ目的で頸部の孔をガーゼとフィルムドレッシング材で保護した。その際、たまたま上部が完全に塞がれておらず、患者の「苦しくない」という口の動きを確認していたことを知らず、頸部のフィルムドレッシング材の上部が空いているのを見て濡れが浸入の恐れと、さらに上部を塞いだ。シャワー浴を開始して1分もしないうちに患者の全身色が不良となり、意識を消失した。頸部に貼っていたフィルムドレッシング材を剥がすと、患者は呼吸を開始し、意識を回復した。

事例が発生した医療機関の取り組み

- 電子カルテやカンファレンスを活用して、患者が永久気管孔の造設後であることを情報共有する。
- 入浴担当者は、患者の疾患や状態を理解したうえで、介助を行う。

総合評価部会の意見

- 頸部の孔がある場合、その孔が永久気管孔であるかどうか確認しましょう。
- 永久気管孔をフィルムドレッシング材で塞ぐと、呼吸ができません。

この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例を基に、本事業の一環として総合評価部会が専門家らとの協議に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のための対策を目的としています。本事業の報告書が詳細については、本事業ホームページに掲載されている報告書および事例報告をご覧ください。
<http://www.med.safe.jp/>

本情報の正確性の確保に必要と認められる正確性については万全を期しておりますが、その内容をそのままに転載・複製するものではありません。

この情報は、医療従事者の教育を目的とし、医療従事者に職務や責任を課したりするものではありません。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
〒101-0061 東京都千代田区三越町1-4-17 東洋ビル
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)
<http://www.med.safe.jp/>

外部理事紹介

このコーナーでは、北海道臨床工学技士会を外部理事としてサポートしていただいている先生方を紹介します。今回は、臨床工学の分野でご活躍されています三田村好矩先生です。三田村先生と臨床工学技士の関わりについて書いていただきました。

北海道臨床工学技士会に私が関わるようになったいきさつについて紹介させていただきます。

我が国では昭和25年頃より医療現場にME機器が普及し始め、ME専門企業も登場し始めました。また昭和37年には、医学者と工学者の協力の場として日本ME学会が設立されました。当時は臨床工学技士が学生時代に必ず習う差動増幅器の同相弁別比が現在の100dBよりはるかに低い増幅器しかなく、脳波は雑音を低減させるためシールドルーム内で測定していました。また我が国においても心臓ペースメーカーの開発が行われていました。

このような状況の昭和37年から41年まで私は工業系の大学に在学していて、工学の医学応用に興味を持っていました。その当時、北海道大学応用電気研究所（現在の電子科学研究所）にはメディカルエレクトロニクス、メディカルトランスデューサ、メディカルテレメータの研究室があり、活発に研究が行われていました。そこで大学院生としてメディカルエレクトロニクス研究室に進むことにしました。研究室の教授、助教授はそれぞれ工学部、理学部の出身ですが医学博士で、前職は大学病院、都内有名病院の臨床現場でした。また助手は内科の医師で、研究室では医工連携で研究が行われていました。私は呼吸器内科、麻酔科の先生の協力を得て、人工呼吸器の研究を行いました。

卒業後助手となってからは循環器、特に人工心臓に興味を持っていました。縁があり、世界で初めて人工心臓がイヌに植え込まれた伝統ある米国クリーブランドクリニックに留学しました。帰国後は各種人工心臓開発を行いました（空気駆動ポンプ、モータ駆動ポンプ、連続流ポンプ、カテーテルポンプ）。

このようなことから道内専門学校の臨床工学技士科で講義を担当することになり、真下泰先生、和田龍彦先生、室橋高男先生の推薦で外部理事を担当することになりました。

臨床工学技士には生命維持装置と患者さんの間を結ぶ重要なインターフェイスの役割があります。ご活躍を期待しています。



医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111



高リン血症治療剤

処方箋医薬品^(注) 注)注意—医師等の処方箋により使用すること。

薬価基準収載



ピートル[®] チュアブル錠 **250mg**
500mg



P-TOL[®] Chewable Tab.

スクロオキシ水酸化鉄(sucroferriic oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元  **キッセイ薬品工業株式会社**

松本市芳野19番48号 <http://www.kissei.co.jp>
<資料請求先> くすり相談センター 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3011JD
2016年1月作成

経験と実績から生まれたME 機器管理システム

HOSMA[®] Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ www.hosma.net



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

最新・最先端の医療機器の情報をご提供します。

 SHIP HEALTHCARE GROUP



SMC 株式会社 札幌メディカルコーポレーション

本社 札幌市白石区本通3丁目北6番18号 ☎ 011-862-4061
函館営業所 ☎ 0138-83-2252 室蘭営業所 ☎ 0143-83-7720
旭川営業所 ☎ 0166-76-1065 北見営業所 ☎ 0157-57-1672

【業務内容】 1. 医療機器販売(循環器、不整脈、心臓外科、ニューロ、体外循環など)
2. 医療業務サポート(中材、SPD、医院開業) 3. その他
※詳細は、当社ホームページをご覧ください。⇒ <http://www.ksmc.jp>

針刺し防止機構付き透析用留置針
Happycath NEO

- フルカバータイプのセーフティ機能
- カテーテル表面の潤滑性向上



メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元: 東亜メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知原字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/>
<http://www.togomedikit.co.jp/>

医療機器認証番号: 212008ZZ00547000
販売名: ハッピーキャス クランプキャスP





NIKKISO Total System NX

安定した治療と、業務の最適化をサポートします。



日機装株式会社

本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965



Innovation by Chemistry



販売名:トレスルホンNV
一般的名称:血液透析濾過器
医療機器承認番号:22700BZX00322000
医療機器区分:高度管理医療機器

東レ独自の膜表面改質技術を採用し、
多様なHDF療法に応えるヘモダイアフィルター



販売業者 東レ・メディカル株式会社 <http://www.toray-medical.com/>
製造販売業者 東レ株式会社

CARDIOSAVE & TRANS-RAY 7 Fr. IABP 患者にとって最適な治療

GETINGE GROUP

Fiber Optic Sensor IAB Catheter TRANS-RAY 7Fr.

細径化、高速化・・・患者と医療従事者のために

販売名:IAB カテーテル TRANS-RAY
医療機器承認番号:22400BZX00035000

MORE THAN A PUMP. A REVOLUTION CARDIOSAVE

血行動態サポートの新しいスタンダード

販売名:大動脈内バルーンポンプ CARDIOSAVE
医療機器承認番号:22500BZX00029000



製造販売元
ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8
スフィアタワー天王洲23F
連絡先: アク्यूトケア・セラビー事業部
TEL: 03-5463-8315 FAX: 03-5463-6856
www.maquet.com/jp

AsahiKASEI

ポリスルホン
ヘモダイアフィルタ

ABH Series

実績のあるポリスルホン膜を採用
幅広い4種類の膜面積を揃えました

血液透析濾過器
旭中空糸型血液透析濾過器

ABH-P

中空糸内径と細孔径を最適化

高度管理医療機器
承認番号: 22200BZX00577000

ABH-F

中空糸内径の拡大により血液側圧力損失を低減

高度管理医療機器
承認番号: 22000BZX00698000



旭化成メディカル株式会社

<http://www.asahikasei-medical.co.jp>

No.2012.5-7470

あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されております。もしもの時の救える命のために、AEDをご検討中の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



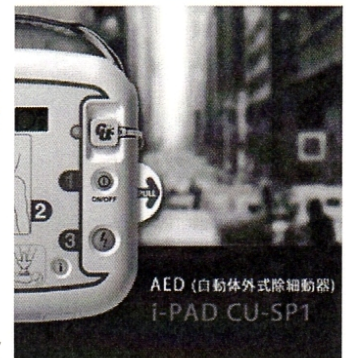
最新医療機器と最新知識の提供を目指す

株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階

TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.actg.co.jp/medical/>



AED (自動体外式除細動器)
i-PAD CU-SP1



株式会社 ぽくやく・竹山ホールディングス
生命と健康への貢献
「医師、医療スタッフとともに人々の生命と健康を守る」という創業以来の使命感のもと社会貢献度の高い仕事と誇りを持ち、日々努力を続けております。

Medical Support Service Provider

血液浄化 低侵襲機器 内視鏡
整形外科 「専門領域に特化した支援・サポート」 眼科
ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に特化した専門担当部門を設けています。
循環器 画像診断機器 テクニカルサポート

株式会社 竹山
代表取締役 茂野 護
本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5
☎011-611-0100(代表) <http://www.takeyama.co.jp>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

| | | | |
|--------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 札幌圏 | 中央支店 ☎011-205-8061 | 北支店 ☎011-205-8065 | 新札幌支店 ☎011-861-2223 |
| | 北支店 ☎011-711-0123 | 札幌支店 ☎011-711-0124 | 市内営業所 ☎011-205-8062 |
| | 札幌センター ☎011-205-8063 | 札幌センター ☎011-826-5161 | |
| 道央・道南圏 | 富良野支店 ☎0143-481221 | 苫小牧支店 ☎0144-53-2101 | 小樽支店 ☎0134-29-4524 |
| | 旭川支店 ☎0126-25-6992 | 帯広支店 ☎0138-83-5000 | |
| 道東・道北圏 | 網走支店 ☎0154-25-2241 | 北見支店 ☎0157-31-3224 | 帯広支店 ☎0155-35-5800 |
| | 旭川支店 ☎0166-73-3011 | 室知支店 ☎0125-54-3465 | 道北支店 ☎01654-3-9955 |
| 北海道外 | 東京支店 ☎03-3814-0103 | 横浜営業所 ☎045-232-3310 | |

在宅医療の未来へ

呼吸不全に対して多角的なアプローチをご提供し、在宅を中心に呼吸療法をきめ細かくサポートいたします。



先進の医療機器で健やかな呼吸をサポート

本社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-25-11 TEL. (03)3813-7200(代)
札幌 VC 〒001-0020 北海道札幌市北区北20条西3丁目 江洋ビル TEL. (011)756-8585



VIVO 50



血液凝固阻止剤(ヘパリンナトリウム製剤)

ヘパフィールド®
透析用250単位/mLシリンジ 20mL

*注意 - 医師等の処方せんにより使用すること



販売元
株式会社 ジェイ・エム・エス
広島市中区加古町12番17号



製造販売元
株式会社 大塚製薬工場
徳島県徳門市撫養町立岩寺赤5115

文献請求先
株式会社 ジェイ・エム・エス 血液浄化営業部
〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号
新南大井ビル
TEL: 03-6404-0602

日本標準商品分類番号 87 3334
薬備基準収載

- 清潔操作を実現
- 薬剤汚染を防止
- 誤投薬を防止
- 調製作業を簡略化
- 充てん操作が不要
- 作業速度が向上

Liberating performance

患者の換気は複雑ですが、ベンチレータは簡便に

- ・状況に応じたガイダンス
- ・高い機動的デザインと壁配管を必要としないシステム
- ・信頼のサーボパフォーマンス
- ・高い費用対効果



〒080-0013 札幌市中央区北13条西171-35 TEL.(011)737-3171(代) <http://www.fukuda.co.jp/>
お客様窓口 ☎ (03) 5802-6600 / 受付時間: 月~金曜日(祝祭日、休日を除く) 9:00~18:00
●医療機器専門メーカー **フクダ電子北海道販売株式会社**

汎用人工呼吸器

サーボベンチレータシステム
SERVO-air

医療機器承認番号: 22800BZX0005000
販売名: サーボベンチレータ SERVO-air
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器



北海道臨床工学技士会ニュース

| | | | |
|------|---------------|---------|------|
| 広報担当 | 旭川リハビリテーション病院 | 臨床機器管理課 | 木村吉治 |
| | 北農会 恵み野病院 | 臨床工学科 | 日沖一木 |
| 編集委員 | 旭川赤十字病院 | 臨床工学課 | 奥山幸典 |
| | 旭川医療センター | 診療統括部 | 本手 賢 |
| | 旭川医科大学病院 | 診療技術部 | 南谷克明 |

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>